

平成27年度原子力関連産業人材育成事業 招へい事業 実施報告書

2016年3月
一般社団法人ロシアNIS貿易会

I. 事業目的

本事業は、世界有数のウラン埋蔵地域である中央アジアにおける原子力分野の円滑な発展が、我が国の資源確保および国際産業協力等の観点から重要であるとの認識に基づき、同分野を支える人材育成を通じてこれを支援することを目的とする。

旧ソ連における相対的後進地域であった中央アジアでは、原子力産業を支える各種機械・設備の製造・修理分野の発達、あるいは輸送インフラの整備状況が十分ではなく、その発展に向けた政策策定が政府における大きな課題となっていることから、特に本事業ではこれら原子力産業のサポーター・インダストリー発展に携わる現地政策担当者等の人材育成を、専門家派遣と招へい研修により支援する。またウェブサイト等を通じた情報発信により、原子力開発・利用および各種安全対策等の現状、同分野における日本との協力の現状と発展の可能性等について現地における理解の促進を図る。

II. 第1回招聘事業

(1) 事業概要

平成27年7月4日(土)～10日(金)の7日間、第1回招へい事業を実施、専門家6名が来日した。本事業のカウンターパートである原子力委員会と事前に合意していたテーマ「日本における原子力・放射線技術の医療分野への応用」に従い、関連施設への訪問・視察等を行うとともに、日本における東日本大震災後の原子力産業および政策の現状について情報を提供した。

経済産業省ではヘルスケア課より、日本の医療機器産業の海外展開支援について説明を受け、情報交換を行った。企業では(株)東芝、(株)千代田テクノル、(株)日立製作所を訪問、招へいテーマに沿って、原子力・放射線技術に係る視察を行うとともに、関連する情報を得た。また、東日本大震災と津波による被害への対応を行っている放射線医学総合研究所を訪問し、施設を視察するとともに、現在の活動状況について詳細な説明を受けた。さらに(独)日本原子力研究開発機構を訪問、高温ガス炉、照射試験炉「JMTR」等を視察し、情報交換を行った。

(2) 招へい者

- 1) AO「原子力テクノパーク」 社長
- 2) 核物理研究所 加速技術科学技術部 加速プロセス物理研究室 室長
- 3) カザフスタンがん・放射線研究所 臨床放射線医学改善サイクル リーダー

- 4) カザフスタン共和国エネルギー省 原子力・エネルギー監督・管理委員会
ライセンス・評価部 主任専門家
- 5) セメイ市がんセンター 放射線技術局 局長
- 6) アルマトイ市がん診療所 臨床担当副所長

(3) 事業テーマ

- 日本における原子力の医療分野への応用の現状と展望、ならびに同分野に係る日本とカザフスタンの協力発展の可能性
 - 日本の原子力の医療分野への適用の現状と、研究の進展
 - ◇ 原子力の医療への適用の現状と将来展望
 - ◇ 原子力の医療への適用に係る研究開発および人材育成の現状と展望
 - 日本の原子力の医療分野への応用に係る産業分野の発展の現状と展望
 - ◇ 医療機器製造・開発分野
 - ◇ 製薬関連分野
 - 原子力の医療分野への応用に係る日本の政策

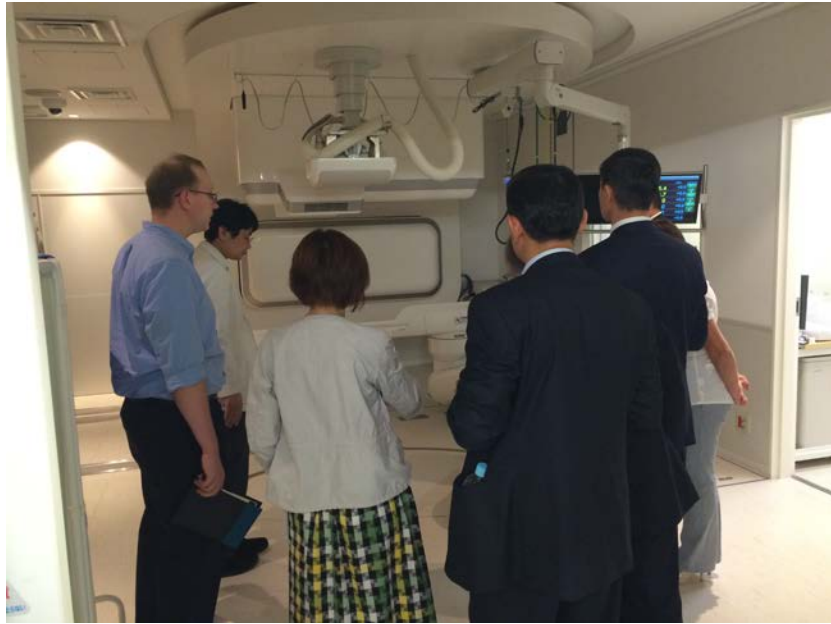
- 原子力分野における日本とカザフスタンとの協力拡大の可能性
 - カザフスタンの原子力政策の現状と原子力産業発展における課題
 - 東日本大震災後の日本の原子力を取り巻く現状
 - ◇ 福島からの教訓：原子力管理を巡る政策的・機構的議論
 - ◇ 放射能被害対策と国際協力
 - カザフスタンにおける原子力発電所建設に際する広報のあり方
 - 原子力および関連分野における二国間協力発展の可能性
 - ◇ 2012年5月の枝野・経済産業大臣(当時)のカザフスタン訪問の際に原子力を含む鉱物資源・エネルギー分野における協力強化の方針が確認され、さらに2014年3月の核セキュリティサミットにて行われた安倍首相とナザルバエフ大統領との首脳会談においても、カザフスタンにおける原子力発電所建設計画への協力を含む原子力分野での協力の重要性について確認したところ、これらの経緯を踏まえた今後の原子力分野における官民双方の協力の方向性

(4) 招へい日程とプログラム概要

期間：平成27年7月4日(土)～7月10日(金) 7日間

	日付	時刻	行動予定	宿泊
0	7/3 (金)	23:10	アルマトイ発(OZ578)	
1	7/4 (土)	7:50 10:00 12:10	ソウル着 ソウル発(OZ104) 成田着 成田空港→都内ホテル	東京

2	7/5 (日)			東京
3	7/6 (月)	09:45 10:00 10:30 14:00 15:20	ホテル発→ROTOBO 事務所 ■キックオフミーティング(於:ROTOBO 会議室) ■基調報告(於:ROTOBO 会議室) 都内→千葉 ■(独)放射線医学総合研究所訪問・視察 15:20-15:40 ビデオ上映:放医研概要紹介 15:50-16:30 レクチャー:原発事故対応と現状(質疑応答含む) 16:35-16:55 視察:緊急被ばく医療施設 17:00-17:40 HIMAC:新治療研究棟(模型と治療室) 千葉→ホテル	東京
4	7/7 (火)	09:00 09:30 14:00 14:30 17:00 18:07	ホテル発→横浜 ■東芝訪問・視察 ■経済産業省ロシア・中央アジア・コーカサス室表敬訪問 ■経済産業省ヘルスケア産業課講義・意見交換会 上野発(特急ひたち21号) 水戸着	水戸
5	7/8 (水)	8:30 9:00 15:35	ホテル発 水戸→大洗 ■(国研)日本原子力研究開発機構大洗研究開発センター 訪問・視察 09:20-09:40 JAEA概況説明(於:HTTR会議室) 09:40-09:50 視察団長挨拶 09:50-10:30 原子力水素・熱利用研究センタープレゼンテーション 10:30-11:30 試験研究炉等産業・医薬応用に関するプレゼンテーション 11:50-12:40 昼食(於:大洗パークホテル) 13:15-13:55 高温工学試験研究炉(HTTR)視察 13:55-14:15 連続水素製造施設(ISプロセス)視察 14:25-15:25 照射試験炉「JMTR」視察 大洗→ホテル	水戸
6	7/9 (木)	09:00 10:00 13:27 14:35 15:30 16:00	ホテル発→大洗 ■千代田テクノロ 10:00-11:15 大貫台事業所(Radiation Monitoring Center) 11:30-12:10 大洗成田町事業所 大洗→ホテル 水戸駅発(特急ひたち14号) 上野駅着 上野→ホテル ホテル→秋葉原 ■(株)日立製作所訪問・視察 ■ラップアップミーティング(於:ROTOBO会議室)	東京
7	7/10 (金)	09:00 12:30 15:00 18:10 21:55	ホテルチェックアウト ホテル発 都内→成田空港 成田発(OZ101) ソウル着 ソウル発(OZ577) アルマトイ着	



視察の様子(7月6日)



視察の様子(7月9日)

Ⅲ. 第2回招聘事業

(1) 事業概要

平成27年8月22日(土)～8月28日(金)の7日間にわたり、第2回招へい事業を実施、専門家6名が来日した。東日本大震災後の日本における原子力産業および政策の現状に関する

る情報、特に原子力発電所の安全対策の強化と再稼動に向けた取り組みの原状について紹介するとともに、今後の日本とカザフスタンとの間の原子力および関連産業分野における協力のあり方について、日本の関係機関と協議、意見交換を行った。経済産業省では資源エネルギー庁原子力政策課より、日本の原子力政策と原子力分野におけるカザフスタンとの協力の現状について説明を受け、情報交換を行った。九州電力の玄海原子力発電所を訪問、東日本大震災後の新安全基準に対応した原子力発電所再稼動へ向けた同社の取り組みを実際に視察することができた。前回に続き訪問した日本原子力研究開発機構では連続水素製造試験施設や高速実験炉「常陽」を視察した。また、カザフスタンの原子力産業政策、原子力の平和利用、環境対策等の現状を日本側関係者に伝えるためのプレゼンテーションを8月24日(月)に開催した。

(2) 招へい者

- 1) エネルギー省原子力・エネルギー監督・管理委員会副委員長
- 2) クルチャトフ市 副市長
- 3) エネルギー省原子力・エネルギー監督・管理委員会
ライセンス・評価部 主任専門家
- 4) エネルギー省石油ガス施設環境規制・管理・国家検査委員会
国家検査・許認可部 部長
- 5) 原子力センター放射線安全・環境研究所試験研究G. リーダー
- 6) エネルギー省石油ガス施設環境規制・管理・国家検査委員会
国家分析管理部 専門家

(3) テーマ

- 日本の原子力・放射線利用に関わる安全対策や環境保護政策、および関連技術開発の現状と同分野における日本とカザフスタンの協力の展望
 - 日本の原子力・放射線利用に関わる安全対策・制度と関連環境保護政策（特に東日本大震災後の変化→次項継続テーマと関連）
 - 日本の原子力・放射線利用に関わる安全対策・環境保護技術の現状と開発の展望
 - 日本の原子力・放射線安全利用技術分野の研究開発および人材育成の現状と展望
 - 日本の最先端原子力・放射線安全利用技術分野におけるカザフスタンとの協力、技術移転の可能性と展望
- 原子力分野における日本とカザフスタンとの協力拡大の可能性
 - カザフスタンの原子力政策の現状と原子力産業発展における課題（カザフ側からの情報提供に基づく意見交換）

- 東日本大震災後の日本の原子力を取り巻く現状
 - ◇ 福島からの教訓：原子力管理を巡る政策的・機構的議論
 - ◇ 放射能被害対策と国際協力
- カザフスタンにおける原子力発電所建設に際する広報のあり方
- 原子力および関連分野における二国間協力発展の可能性
 - ◇ 2014年3月の核セキュリティサミットにて行われた安部首相とナザルバエフ大統領との首脳会談において、カザフスタンにおける原子力発電所建設計画への協力を含む原子力分野での協力の重要性について確認したところ、これらの経緯を踏まえた今後の原子力分野における官民双方の協力の方向性

(4) 招へい日程とプログラム概要

期間：平成27年8月22日（土）～8月28日（金） 7日間

	日付	時刻	行動予定	宿泊
0	8/21 (金)	23:10	アルマトイ発 (OZ578)	
1	8/22 (土)	7:50 15:10 17:30	ソウル着 ソウル発 (OZ106) 成田着 成田空港→都内ホテル	東京
2	8/23 (日)			東京
3	8/24 (月)	10:00 10:30 12:30 14:00 16:00 16:27 16:32 16:36 17:10 18:00 19:50	<p>■キックオフミーティング (於：ROTOBO 会議室)</p> <p>■基調講演 (於：ROTOBO 会議室) 講師：小林雅治 (一社) 日本原子力産業協会 国際部 テーマ：最近の日本の原子力動向</p> <p>■カザフスタン原子力プレゼンテーション (於：証券会館第1、2 会議室)</p> <p>茅場町発 東銀座着 東銀座発 羽田空港国内線ターミナル着</p> <p>羽田空港発 (NH267) 福岡空港着</p> <p>*空港→ホテル</p>	福岡
4	8/25 (火)	10:40 13:10 	ホテル発 ■玄海原子力発電所訪問 13:00 玄海エネルギーパーク着	福岡

		16:10	<ul style="list-style-type: none"> -挨拶 -概要説明 14:00 玄海エネルギーパーク視察 <ul style="list-style-type: none"> -展望ルーム等 14:20 発電所(3/4号機)視察 <ul style="list-style-type: none"> -安全対策実施状況等 15:40 玄海エネルギーパーク到着 <ul style="list-style-type: none"> -質疑応答 *玄海原発→福岡 18:30 ホテル着	
5	8/26 (水)	08:00 09:00 10:45 14:00 16:00 16:53 18:07	ホテル発(専用車)→福岡空港 福岡空港発(NH244) 羽田空港着 羽田空港→霞ヶ関 ■経済産業省ロシア・中央アジア・コーカサス室表敬訪問 ■経済産業省資源エネルギー庁原子力政策課 講義 霞ヶ関→上野駅 上野駅発 水戸駅着	水戸
6	8/27 (木)	08:30 09:00 15:53 17:06 17:30	ホテル発 ■(国研)日本原子力研究開発機構訪問・視察 09:10-09:30 JAEA概況説明 09:30-10:10 カザフスタン側プレゼン 10:10-10:50 原子力水素・熱利用研究センタープレゼン 10:50-11:30 高温工学試験研究炉(HTR)視察 11:30-11:40 連続水素製造試験施設(ISプロセス)視察 13:20-13:40 照射試験炉センター視察 13:50-14:40 高速実験炉「常陽」視察 JAEA→水戸駅 15:53 水戸駅発 17:06 上野駅着 上野→ROTOBO(地下鉄) ■ラップアップ(於:ROTOBO会議室)	東京
7	8/28 (金)	10:30 14:10 16:40 18:10 21:55	ホテルチェックアウト ホテル発 都内→成田空港 成田発(OZ103) ソウル着 ソウル発(OZ577) アルマトイ着	



カザフスタン原子カプレゼンテーション（8月24日）



玄海原子力発電所 エネルギーパークにて（8月25日）



(独) 日本原子力研究開発機構訪問 (8月27日)

以上